10/540989 the secident of the seciment of the

PCT

特許協力条約

REC'D 1 6 DEC 2004

WIPO

РСТ

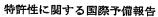
特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) 【PCT36条及びPCT規則70]

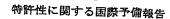
出願人又は代理人 の寄類記号 MP5070WO	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/000002	国際出願日 (日.月.年) 05.01.2004	優先日 (日.月.年) 06.01.2003
国際特許分類 (IPC) Int. Cl 31/47, 31/4741	A61K45/00, 31/517, 3, 31/496, A61P25/18, 2	
出願人(氏名又は名称) 三菱ウェルフ ;		

三菱ウェルファーマ株式会社
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で5 ページからなる。 3. この報告には次の附属物件も添付されている。
。
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照) 第1欄4.及び補充欄に示したように、出際性にないようである。
□ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b □ 電子媒体は全部で
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 第 I 欄 優先権 第 I 欄 寄規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 IV欄 発明の単一性の欠如 第 V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
けるための文献及び説明 第VI欄 ある種の引用文献 図 第VI欄 国際出願の不備 図 第VI欄 国際出願に対する意見
了成文 字 (如 中 本 -) (如 中 -) (如 -) (如 中 -) (如 -) (如 中 -) (如 -) (如 中 -) (如 -) (

国際予備審査の請求書を受理した日 05.01.2004	国際予備審査報告を作成した日 30.11.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員)	4 C	9454
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	上條 のぶよ 電話番号 03-3581-1101 内線	34	5.1

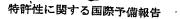


	·	
第I欄	報告の基礎	
1. 5	の国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほ	か、国際出願の言語を基礎とした。
	この報告は、	ంద.
2. このた差替	の報告は下記の出願偖類を基礎とした。 (法第69 え用紙は、この報告において「出願時」とし、この	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され の報告に添付していない。)
\times	出願時の国際出願書類	
	明細書 第 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、	
П	請求の範囲	
	第	出願時に提出されたもの PC、T 1 9条の規定に基づき補正されたもの
	図面 第	・ 出願時に提出されたもの 付けで国際予備薬を機関が受理したもの
3. 🗆	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。 補正により、下記の番類が削除された。	
· LJ	明細審 第 請求の範囲 第	ページ
	□ 図面 第	項
4.	この報告は、補充欄に示したように、この報告に えてされたものと認められるので、その補正がさ	- 添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超れなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
	□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ページ 項 ページ/図
* 4. k	こ」 記列表に関連するテーブル(具体的に記載す に該当する場合、その用紙に "superseded" と記え	



. 見解	•		
新規性(N)	請求の範囲 	1-16	
進歩性(IS)	請求の範囲	1-16	
産業上の利用可能性 (IA)		1-16	
文献及び説明(PCT規則70). 7)		
1997, Vol. 7, Vol. 7, Vol. 3, Vol. 39, No. 1	et al., Molecular et al., Bioorgan No. 21, p. 2723-27 W. et al., Journ p. 918-928 O 6 9 4 5 9 A 7 7 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 A 1 6 A 1 7 . 1 5 A 1 6 A 1 A 1 6 A 1 7 A 1 6 A 1 6 A 1 7 A 1 6 A 1 7 A 1 8 A	nal of Medicinal Chemistry, 1996, 1 (イムクローン システムズ 0 0 . 1 1 . 2 3 (グラクソ グループ リミテッド) (ファイザー・インコーポレーテット (ゼネカ・リミテッド), (アメリカン・サイアナミド・ 0 8 (ゼネカ・リミテッド),	, ٽ) _. ,

ストート3には、上皮成長因子受容体の活性阻害剤を有効成分として含有する精神病、統合失調症、認知機能障害の予防及び/又は治療薬が記載されておらず、しかも当業者といえども容易に想到し得ないものである。

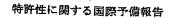


第VII欄 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

請求項15, 16において、「・・・を有効成分とする(1)または(3)または(5)に記載の・・・」とあるが、(1),(3),(5)の意味するものが不明瞭

様式PCT/IPEA/409 (第VI欄) (2004年1月)



第四欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲1-6は、「上皮成長因子受容体の活性阻害剤」、「上皮成長因子受容体の活性阻害が上皮成長因子受容体と上皮成長因子の結合阻害である上皮成長因子受容体の活性阻害剤」という所望の性質により定義された化合物を有効成分とする精神、統合失調症、認知機能障害の予防及び/又は治療剤に関するものである。そして、請求の範囲1-6は、そのような性質を有するあらゆる化合物を包含するものであるが、PCT6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT5条の意味において開示されているのは、クレームされた化合物のごくわずかな部分にすぎないものと認められる。

のと認められる。 また、「上皮成長因子受容体の活性阻害剤」、「上皮成長因子受容体の活性阻害が 上皮成長因子受容体と上皮成長因子の結合阻害である上皮成長因子受容体の活性阻害 剤」は、出願時の技術常識を勘案してもそのような性質を有する化合物の範囲を特定 できないから、請求の範囲1-6は、PCT6条における明確性の要件も欠いてい